

平成28年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	大阪府		市町村類型	政令指定都市	指定団体等の指定状況		区分		平成28年度(千円)	平成27年度(千円)	区分		平成28年度(千円・%)	平成27年度(千円・%)
					財政健全化等	×	歳入総額	353,275,953			362,838,817	実質収支比率		
市町村名	堺市		地方交付税種地	1-7	財源超過	×	歳出総額	349,889,132	359,595,460	経常収支比率	97.4	96.9	(108.6)	(109.2)
					首都	×	歳入歳出差引	3,386,821	3,243,357	(※1)				
					近畿	○	翌年度に繰越すべき財源	993,313	1,131,770	標準財政規模	187,910,775	187,481,446		
							実質収支	2,393,508	2,111,587	財政力指数	0.85	0.84		
人口	27年国調(人)	839,310	産業構造(※5)		中部	×	単年度収支	281,921	371,395	公債費負担比率	16.1	16.1		
	22年国調(人)	841,966			過疎	×	積立金	3,500	4,000	健全化判断比率				
	増減率(%)	-0.3			山振	×	繰上償還金	1,739	1,331,778	実質赤字比率	-	-		
住民基本台帳人口(※7)	29.01.01(人)	844,030	第1次	27年国調	1,738	1,728	低開発	×	積立金取崩し額	-	-	連結実質赤字比率	-	-
	うち日本人(人)	831,261		0.5	0.5	指数表選定	○	実質単年度収支	287,160	1,707,173	実質公債費比率	5.7	5.5	
	28.01.01(人)	845,960	第2次	82,811	81,757			基準財政収入額	116,013,388	113,152,158	資金不足比率(※4)			
	うち日本人(人)	833,480		24.4	24.7			基準財政需要額	134,860,636	132,895,564				
	増減率(%)	-0.2	第3次	255,315	247,212			標準税収入額等	149,769,130	145,777,203				
	うち日本人(%)	-0.3		75.1	74.8			経常経費充当一般財源等	183,097,519	188,434,665				
面積(km ²)	149.82						歳入一般財源等	206,793,567	214,340,497					
人口密度(人/km ²)	5,602													
世帯数(世帯)	350,301													
職員の状況														
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	407,737,136	395,079,176			
	市区町村長	1	9,520	一般職員	4,757	14,941,737	3,141	うち公的資金	76,011,144	80,955,435				
	副市区町村長	3	8,910	うち消防職員	893	2,643,280	2,960	債務負担行為額(支出予定額)	85,465,166	72,054,577				
	教育長	1	7,534	うち技能労務職員	62	199,888	3,224	収益事業収入	1,876,242	2,100,669				
	議会議長	1	9,500	教育公務員	3,878	12,889,494	3,324	土地開発基金現在高	-	-				
	議会副議長	1	8,500	臨時職員	63	172,935	2,745	積立金現在高	1,816,500	1,813,000				
	議会議員	46	7,800	合計	8,698	28,004,166	3,220	減債基金	6,075,782	4,960,240				
				ラスパイレシ指数			99.7	その他特定目的基金	37,241,399	39,734,139				
一般会計等の一覧														
項番	会計名	事業会計の一覧			公営企業(法適)の一覧			公営企業(法非適)の一覧			関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧	
(1) 一般会計		(6) 国民健康保険事業特別会計	(9) 堺市水道事業会計				(11) 大阪府都市競艇組合	(19) (公財) 堺市市政研究所						(※3)
(2) 都市開発資金特別会計		(7) 介護保険事業特別会計	(10) 堺市下水道事業会計				(12) 泉州水防事務組合	(20) (公財) 堺市文化振興財団						
(3) 公共用地先行取得事業特別会計		(8) 後期高齢者医療事業特別会計					(13) 大阪府後期高齢者医療広域連合(一般会計)	(21) さかいウエルネス(株)						
(4) 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計							(14) 大阪府後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	(22) (公財) 堺市救急医療事業団						
(5) 公債管理特別会計							(15) 大阪広域水道企業団(水道事業会計)	(23) (株) さかい新事業創造センター						
							(16) 大阪広域水道企業団(工業用水道事業会計)	(24) (公財) 堺市産業振興センター						
							(17) 関西広域連合	(25) (公財) 堺市勤労者福祉サービスセンター						
							(18) 南河内環境事業組合	(26) 堺市住宅供給公社						
								(27) (公財) 堺市公園協会						
								(28) (公財) 堺市教育スポーツ振興事業団						

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	132,380,979	37.5	122,055,637	72.4	普通税	117,398,582	88.7	1,418,933
地方譲与税	2,129,653	0.6	2,129,653	1.3	法定普通税	117,398,582	88.7	1,418,933
利子割交付金	161,683	0.0	161,683	0.1	市町村民税	54,149,262	40.9	1,418,933
配当割交付金	589,442	0.2	589,442	0.3	個人均等割	1,285,809	1.0	-
株式等譲渡所得割交付金	347,668	0.1	347,668	0.2	所得割	42,927,509	32.4	-
地方消費税交付金	14,583,136	4.1	14,583,136	8.7	法人均等割	2,282,389	1.7	-
ゴルフ場利用税交付金	138,074	0.0	138,074	0.1	法人税割	7,653,555	5.8	1,418,933
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	56,131,135	42.4	-
自動車取得税交付金	784,105	0.2	784,105	0.5	うち純固定資産税	55,218,758	41.7	-
軽油引取税交付金	6,022,989	1.7	6,022,989	3.6	軽自動車税	1,075,238	0.8	-
地方特例交付金	592,622	0.2	592,622	0.4	市町村たばこ税	6,042,947	4.6	-
地方交付税	19,791,532	5.6	18,777,071	11.1	釧産税	-	-	-
普通交付税	18,777,071	5.3	18,777,071	11.1	特別土地保有税	-	-	-
特別交付税	1,014,461	0.3	-	-	法定外普通税	-	-	-
震災復興特別交付税	-	-	-	-	目的税	14,982,397	11.3	-
(一般財源計)	177,521,883	50.3	166,182,080	98.6	法定目的税	14,982,397	11.3	-
交通安全対策特別交付金	305,739	0.1	305,739	0.2	入湯税	-	-	-
分担金・負担金	3,243,396	0.9	51,315	0.0	事業所税	4,657,055	3.5	-
使用料	3,876,704	1.1	1,209,591	0.7	都市計画税	10,325,342	7.8	-
手数料	2,080,823	0.6	4,549	0.0	水利地益税等	-	-	-
国庫支出金	86,122,800	24.4	-	-	法定外目的税	-	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	9,698	0.0	9,698	0.0	旧法による税	-	-	-
都道府県支出金	20,745,766	5.9	-	-	合計	132,380,979	100.0	1,418,933
財産収入	1,557,421	0.4	342,750	0.2				
寄附金	329,574	0.1	-	-				
繰入金	4,598,018	1.3	-	-				
繰越金	3,243,357	0.9	-	-				
諸収入	7,960,374	2.3	437,999	0.3				
地方債	41,680,400	11.8	-	-				
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	19,364,500	5.5	-	-				
歳入合計	353,275,953	100.0	168,543,721	100.0				

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	38,772,417	実質収支	867,143
下水道	8,791,302	再差引収支	-814,032
上水道	130,861	加入世帯数(世帯)	124,694
その他	26,521	被保険者数(人)	202,076
駐車場整備	5,489	被保険者	90
国民健康保険	9,282,416	1人当り	保険料(料)収入額
その他	20,535,828		国庫支出金
			保険給付費

歳出の状況(単位:千円・%)					
目的別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	1,214,976	0.3	-	1,214,976	
総務費	28,543,974	8.2	4,801,210	20,928,554	
民生費	169,783,051	48.5	2,235,229	74,813,120	
衛生費	23,735,477	6.8	664,337	18,277,509	
労働費	356,534	0.1	2,703	343,581	
農林水産業費	864,333	0.2	350,116	651,212	
商工費	3,584,756	1.0	-	1,792,714	
土木費	48,517,335	13.9	25,590,416	23,052,585	
消防費	9,467,584	2.7	426,960	8,400,638	
教育費	29,853,911	8.5	7,785,346	20,532,616	
災害復旧費	-	-	-	-	
公債費	33,940,680	9.7	-	33,437,083	
諸支出金	26,521	0.0	-	26,521	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	349,889,132	100.0	41,856,317	203,470,901	

性質別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	202,161,155	57.8	112,633,157	112,014,000	59.6
人件費	47,971,769	13.7	44,011,176	43,393,758	23.1
うち職員給	33,641,641	9.6	30,127,731	-	-
扶助費	120,351,273	34.4	35,287,465	35,287,465	18.8
公債費	33,838,113	9.7	33,334,516	33,332,777	17.7
元利償還金	33,838,113	9.7	33,334,516	33,332,777	17.7
内 うち元金	29,022,440	8.3	28,518,843	28,517,108	15.2
訳 うち利子	4,815,673	1.4	4,815,673	4,815,669	2.6
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	105,871,660	30.3	85,371,604	71,083,519	37.8
物件費	43,156,838	12.3	35,365,683	31,372,882	16.7
維持補修費	1,827,751	0.5	1,219,483	1,219,483	0.6
補助費等	25,109,231	7.2	22,240,673	15,417,095	8.2
うち一部事務組合負担金	32,824	0.0	32,824	32,824	0.0
繰出金	29,850,254	8.5	23,777,633	23,074,059	12.3
積立金	3,224,281	0.9	2,697,232	-	-
投資・出資金・貸付金	2,703,305	0.8	70,900	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	41,856,317	12.0	5,466,140	-	-
うち人件費	1,138,808	0.3	1,119,180	-	-
普通建設事業費	41,856,317	12.0	5,466,140	-	-
うち補助	23,211,130	6.6	991,373	-	-
うち単独	18,645,187	5.3	4,474,767	-	-
災害復旧事業費	-	-	-	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	349,889,132	100.0	203,470,901	-	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成28年度 大阪府堺市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	353,114	349,889	3,225	2,232	5,895	449,833	
2 都市開発資金特別会計	514	514	-	-	61	60	
3 公共用地先行取得事業特別会計	4,016	4,016	-	-	1,012	7,051	
4 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	417	256	162	162	6	3,029	
5 公債管理特別会計	49,627	49,627	-	-	38,788	-	
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							

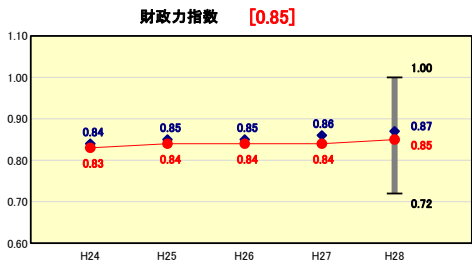
(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	844,030	人(H29.1.1現在)	-	%
うち日本人	831,261	人(H29.1.1現在)	-	%
面積	149.82	km ²		
歳入総額	353,275,953	千円		
歳出総額	349,889,132	千円		
実質収支	2,393,508	千円		
標準財政規模	187,910,775	千円		
地方債現在高	407,737,136	千円		
実質赤字比率	-	%		
連結実質赤字比率	-	%		
実質公債費比率	5.7	%		
将来負担比率	17.5	%		
市町村類型	H24 政令市 H25 政令市 H26 政令市			
(年度毎)	H27 政令市 H28 政令市			



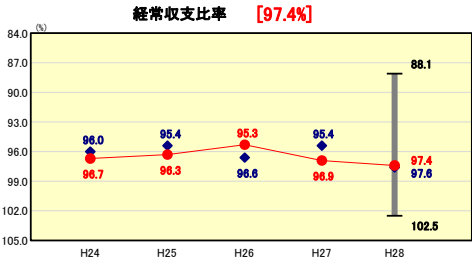
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体とする。
 ※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。
 ※充分な財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

財政力



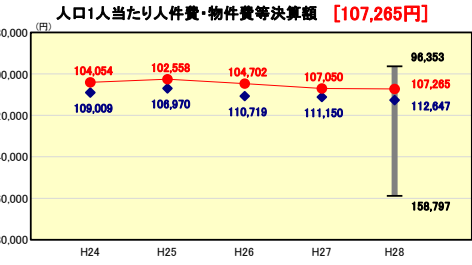
財政力指数の分析欄
 平成17年4月1日に施行した堺市企業立地促進条例によるグリーンフロントを中心とした企業投資の誘導により、固定資産税や事業所税などの効果額による本市の財政への寄与は非常に大きく、財政力指数は回復傾向にあるが、生活保護費が他団体平均と比べて例年7ポイント程度高く推移しており、依然として類似団体平均を下回る状況が続いているため、市税の徴収強化等による歳入の確保に努める。

財政構造の弾力性



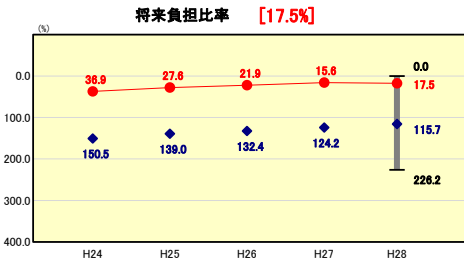
経常収支比率の分析欄
 平成28年度は認定子ども園や保育所にかかる運営費など、社会保障関係費が引き続き増加したものの、定年退職者数の減少により人件費に係る経常一般財源が減少したため、歳出の経常一般財源は前年度から48.1億円の減少となった。しかし、地方消費税交付金の減少など、歳入の経常一般財源が前年度から59.5億円の減少となったため、経常収支比率は前年度から0.5ポイント上昇した。類似団体平均を下回っているが、今後も、市税の徴収強化等による歳入の確保や、要員管理等行財政改革を一層推進し、指数の改善に努める。

人件費・物件費等の状況



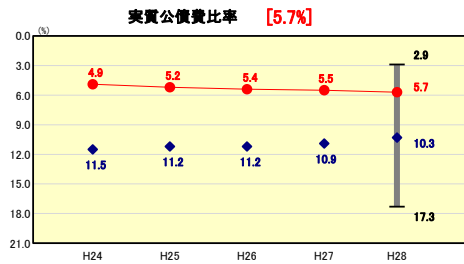
人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 人件費は、平成25年度から2年間の給与減額措置が終了したことなどにより増加傾向にあるが、平成28年度においては、定年退職者数が減少したことに伴う退職手当の減により、決算額は減少した。また、物件費においても、平成23年度から事務事業の総点検を実施し、事業の見直し等の行財政改革を推進しているため、前年度から減少したが、本市の人口が昨年度から減少した影響で、1人当たり人件費・物件費等決算額は微増している。類似団体と比較して低い水準で推移できているため、今後も要員管理の徹底や、行財政改革の推進を行い、現在の水準の維持に努める。

将来負担の状況



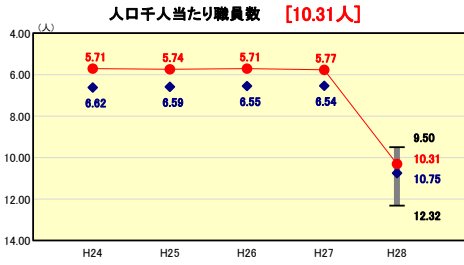
将来負担比率の分析欄
 平成28年3月31日付で土地開発公社が解散したことに伴い、事業用地取得の推進に伴う当該用地に係る債務負担行為を解消したことや、要員管理による職員数の減、退職手当の支給率の引き下げによる退職手当負担見込み額の減少などにより、これまで改善を続けてきたが、独立行政法人堺市立病院機構において、繰越損失が生じていることや、阪神高速大和川線事業などの公共事業の進捗に伴う市債残高の増加などにより、前年度より1.9ポイント上昇し、17.5%となった。類似団体平均を大きく下回っているため、現在の水準維持に努める。

公債費負担の状況



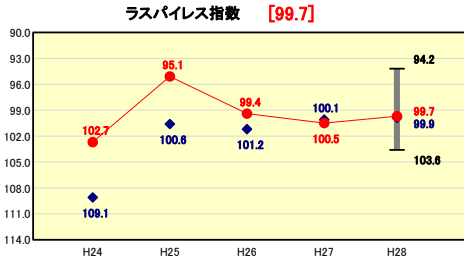
実質公債費比率の分析欄
 算定対象となる公債費に大きな増加はないものの、平成11年度に発行した経済対策事業債の元利償還にかかる交付税措置が平成26年度で終了したことなどにより、一般財源が増加したため前年度より0.2ポイント増加の5.7%となったが、類似団体平均を大きく下回っているため、現在の水準維持に努める。

定員管理の状況



人口千人当たり職員数の分析欄
 平成28年度は府費負担教職員の権限移譲があり、本市で給与を負担する教職員数が増加したことに伴い、職員数が9,698人と大幅に増加し、前年度から4.54ポイント上昇したが、平成23年度に策定した「堺市要員管理方針」において、平成21年4月1日を起点として10年間で要員数を2割以上削減するという目標を掲げ、職員数の削減を進めている結果、引き続き類似団体の平均を下回った。平成21年4月1日時点の6,065人を起点とし、中期目標として平成27年に5,100人、長期目標として平成31年に4,800人にまで削減するという目標に対し、府費負担教職員権限移譲の影響を除いた職員数は平成29年4月1日時点で4,908人という実績である。

給与水準(国との比較)



ラスパイレズ指数の分析欄
 これまでの経過について、平成25年度(H24)は本市でも国家公務員の給与減額措置と同様に減額措置を行っていたが、平成26年度(H25)については、国家公務員の給与減額措置が終了し、本市のみの実施となったため指数が下がった。その後、本市の給与減額措置が平成26年度末で終了したため、平成27年度(H26)では指数は上がり、平成28年度(H27)については、給料表の引上げ改定を行ったため、指数は上昇傾向であったが、平成29年度(H28)は給与制度の総合見直しにおいて給料表の引き下げ改定を行った結果、指数は下がった。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成28年度

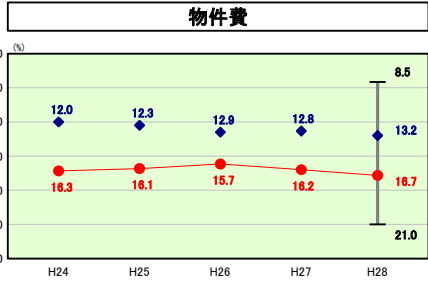
大阪府堺市

経常収支比率の分析

人口	844,030	人(H29.1.1現在)	実赤字比率	-	%
うち日本人	831,261	人(H29.1.1現在)	連結実赤字比率	-	%
面積	149.82	km ²	実公債費比率	5.7	%
歳入総額	353,275,953	千円	将来負担比率	17.5	%
歳出総額	349,899,132	千円	市町村類型	H24 政令市 H25 政令市 H26 政令市	
実収支	2,393,508	千円	(年度毎)	H27 政令市 H28 政令市	
標準財政規模	187,910,775	千円			
地方債現在高	407,737,136	千円			



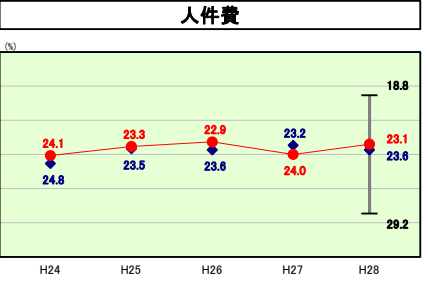
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成26年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似団体内順位 17/20 全国平均 14.8 大阪府平均 12.9

物件費の分析欄

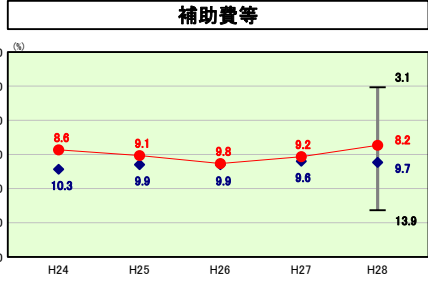
平成23年度から事務事業の総点検を実施し、行財政改革を進めているところであり、低下傾向で推移していたが、平成27年度については、新たにオープンした施設や直営から指定管理者制度へ移行した施設に係る指定管理委託料が増加したことに伴い、前年度から0.5ポイント上昇した。
 平成28年度については、物件費の歳出経常一般財源は行財政改革等により前年度から減少したものの、人件費の経常収支比率が低下したことから、相対的に物件費の経常収支比率が前年度から0.5ポイント上昇した。



類似団体内順位 8/20 全国平均 23.7 大阪府平均 23.8

人件費の分析欄

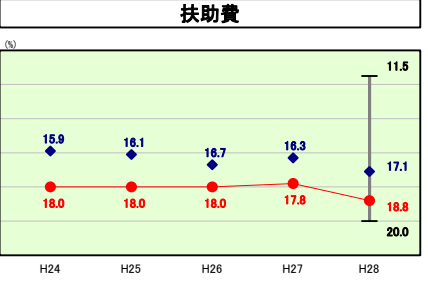
平成23年度に策定した「堺市要員管理方針」に基づく要員管理の徹底による職員数の削減が続いているところではあるが、平成27年度については、定年退職者数の増加による退職手当の増加や、平成25年度から2年間実施していた給与減額措置が終了したこと等により、前年度から1.1ポイント上昇した。
 平成28年度については、定年退職者数の減少による退職手当の減により、前年度から0.9ポイント低下した。



類似団体内順位 9/20 全国平均 10.4 大阪府平均 10.2

補助費等の分析欄

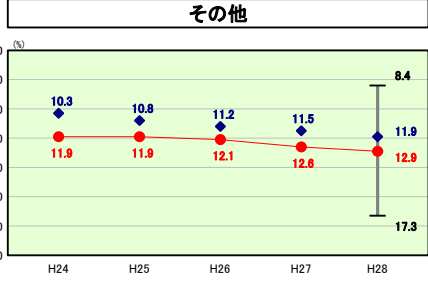
平成25年度において、民間保育所運営補助や堺市立病院機構運営費負担金が増加したこと、平成26年度において、小規模保育事業運営補助及び住宅建築物耐震改修補助が増加したことにより、2か年連続で上昇した。
 平成27年度については、平成27年度から施行された子ども・子育て支援新制度により、従来補助費等で計上していた小規模保育事業運営補助や延長保育事業補助、私立幼稚園就園奨励費補助等を扶助費として支給することとなり、減少に転じた。
 平成28年度については、民間保育所等運営補助にかかる経費に基金を充当し、一般財源が減少したこと等により、前年度から1.0ポイント低下した。



類似団体内順位 16/20 全国平均 12.4 大阪府平均 17.7

扶助費の分析欄

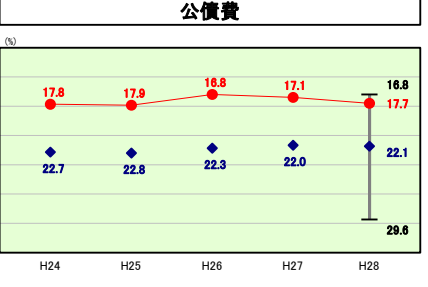
平成24年度から平成26年度は横ばいで推移している。
 平成27年度については、障害者自立支援給付費が、引き続き増加となったものの、認定こども園等運営費は平成27年度から施行された子ども・子育て支援新制度への移行により、大阪府からの負担金が増加したため、全体として経常一般財源は微減し、前年度から0.2ポイント低下した。
 平成28年度については、前年度に引き続き認定こども園等運営費や障害者自立支援給付費が増加したこと、前年度から1.0ポイント上昇した。



類似団体内順位 15/20 全国平均 13.5 大阪府平均 13.0

その他の分析欄

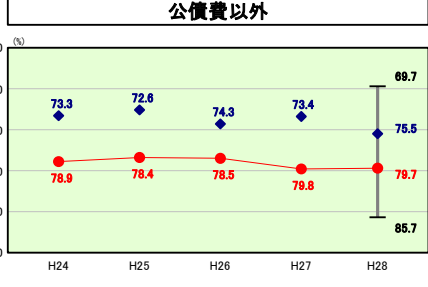
国民健康保険事業、介護保険事業の各特別会計への繰出の増加により、年々比率が上昇している。国民健康保険事業への繰出の増加要因は、主に、保険者支援対象の拡大や支援率の引上げである。介護保険事業への繰出の増加要因は、主に、要介護認定者数の増加に伴う介護保険給付費の増加である。
 平成28年度については、国民健康保険事業への繰出額は減少したものの、人件費の経常収支比率が低下したことから、相対的に経常収支比率が前年度から0.3ポイント上昇した。



類似団体内順位 3/20 全国平均 17.7 大阪府平均 20.6

公債費の分析欄

平成26年度については、平成25年度で償還終了するものが多く、前年度から1.1ポイント低下した。
 平成27年度、平成28年度と2か年続けて上昇しているのは、臨時財政対策債にかかる償還が増加していること、土地開発公社に代わる用地の先行取得の手段として活用している公共用地先行取得事業債の償還が本格化していること等によるものである。



類似団体内順位 16/20 全国平均 74.8 大阪府平均 77.6

公債費以外の分析欄

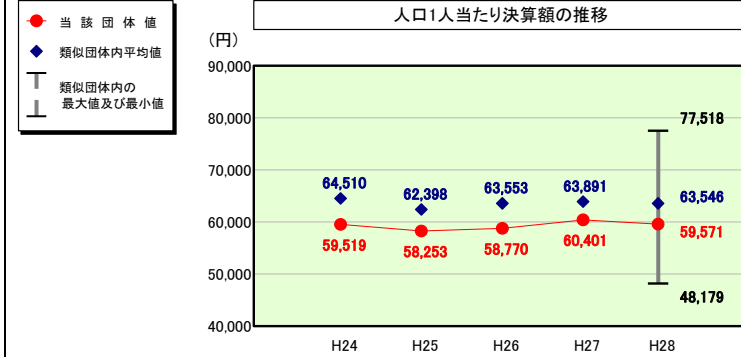
経常一般財源の大きな割合を占める人件費や物件費が低下傾向にあったものの、繰出金が増加したことにより、公債費以外の経常収支比率は概ね横ばいで推移していた。
 平成27年度については、人件費、物件費、繰出金が増加したことから、前年度から1.4ポイント上昇した。
 平成28年度については、人件費が前年度から大きく低下したが、同じく大きな割合を占める扶助費が、認定こども園等の運営費の増加に等しい前年度から大きく上昇したため、公債費以外の経常収支比率は平成27年度とほぼ横ばいとなった。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成28年度

大阪府堺市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



(注) 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

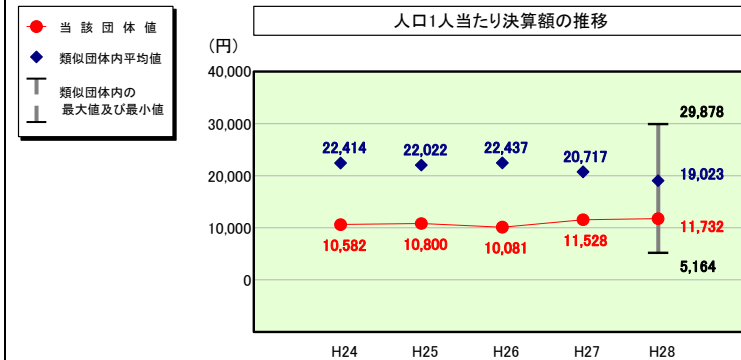
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	47,971,769	56,837	62,452	▲ 9.0
賃金(物件費)	2,095,405	2,483	1,462	▲ 69.8
一部事務組合負担金(補助費等)	12,860	15	131	▲ 88.5
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	867,270	1,028	1,277	▲ 19.5
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	5	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	1,753,496	2,078	1,919	▲ 8.3
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	1,138,808	1,349	1,219	▲ 10.7
▲退職金	▲ 3,559,996	▲ 4,218	▲ 4,920	▲ 14.3
合計	50,279,612	59,571	63,546	▲ 6.3

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	10.31	10.75	▲ 0.44
ラスパイレス指数	99.7	99.9	▲ 0.2

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

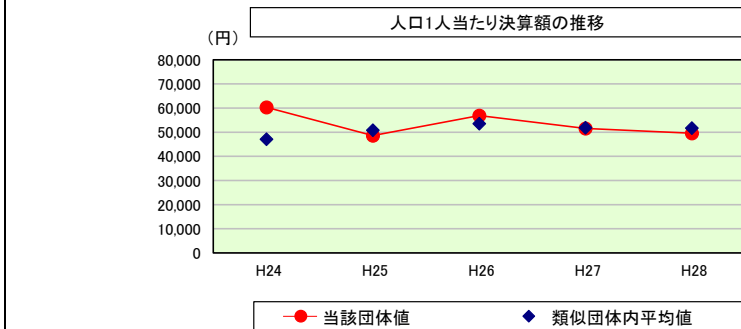


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	28,616,589	33,905	33,321	1.8
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	3,258	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	6,474,843	7,671	20,639	▲ 62.8
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	6,868,686	8,138	12,279	▲ 33.7
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	229	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	175,891	208	1,150	▲ 81.9
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利息は除く)	-	-	1	-
▲特定財源の額	▲ 10,134,029	▲ 12,007	▲ 17,392	▲ 31.0
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 22,099,706	▲ 26,184	▲ 34,463	▲ 24.0
合計	9,902,274	11,732	19,023	▲ 38.3

※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

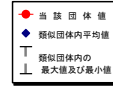
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額			
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)
H24	51,231,852	60,319	13.7	47,129	▲ 3.4
うち単独分	19,377,199	22,814	▲ 0.9	23,069	▲ 10.2
H25	41,263,314	48,596	▲ 19.4	50,848	▲ 7.9
うち単独分	16,776,700	19,758	▲ 13.4	22,583	▲ 2.1
H26	48,250,312	56,918	17.1	53,572	5.4
うち単独分	27,190,025	32,074	62.3	25,259	11.8
H27	43,647,433	51,595	▲ 9.4	51,898	▲ 3.1
うち単独分	20,185,701	23,861	▲ 25.6	25,986	▲ 2.9
H28	41,856,317	49,591	▲ 3.9	51,684	▲ 0.4
うち単独分	18,645,187	22,091	▲ 7.4	26,671	▲ 2.6
過去5年間平均	45,249,846	53,404	▲ 0.4	51,026	1.3
うち単独分	20,434,962	24,120	3.0	24,714	1.0

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

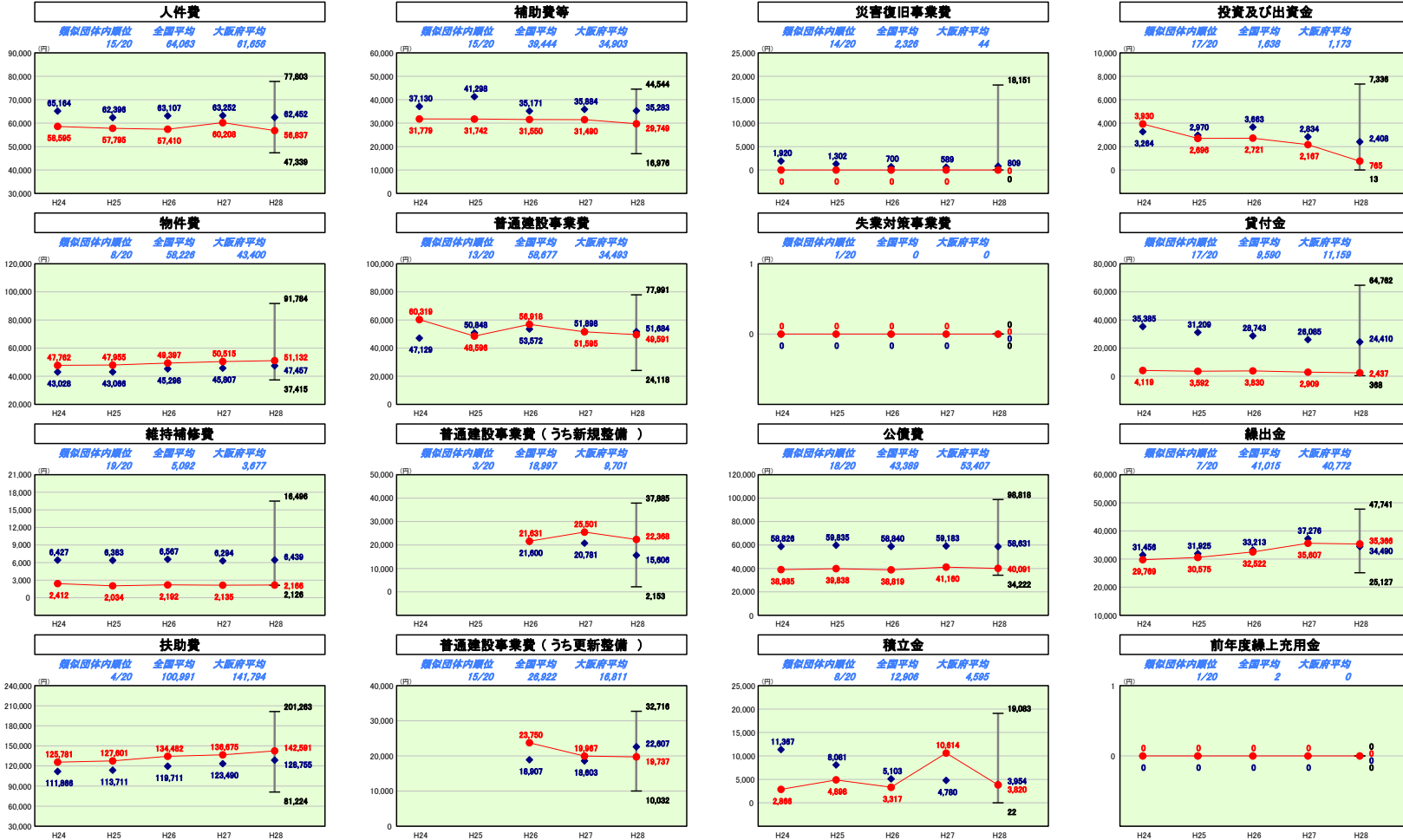
平成28年度

大阪府堺市

人口	844,030	人(H29.1.1現在)			
うち日本人	831,261	人(H29.1.1現在)			
面積	149.82	km ²			
歳入総額	353,275,963	千円	実質赤字比率	-	%
歳出総額	349,889,132	千円	実質赤字率	-	%
実収支	2,385,508	千円	実質公債費比率	5.7	%
標準財政規模	187,910,775	千円	将来負担比率	17.5	%
地方債現在高	407,737,136	千円	市町村類型	H24 政令市 H25 政令市 H26 政令市	
			(年度毎)	H27 政令市 H28 政令市	



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析圖

○人件費については、平成23年度に策定した「堺市委員管理方針」に基づく委員管理の徹底による職員数の削減を続けている。類似団体平均との比較では、5年間低位で推移している。平成27年度は、定年退職者数の増加に伴う退職手当の増加により、前年度から4.9%増加したが、平成28年度は定年退職者数の減少により、前年度から5.6%減少した。
 ○扶助費は年々増加している。認定こども園運営費の増加が続いていること等が要因である。また、本市は生活保護率が高いことから、類似団体に比べて高い水準となっている。
 ○普通建設事業費については、平成24年度のみ類似団体平均を大きく上回っているのは、平成24年度に清瀬工場の整備を行ったためである。
 ○投資および出資金については、概ね横ばいで推移してきたが、平成28年度は、日本高速道路保有・債務返済機構への出資対象事業費が減少したため、前年度から大きく減少した。
 ○繰上金は増加傾向にある。国民健康保険事業特別会計と介護保険事業特別会計への繰上金が増加していることが要因である。平成28年度以前年度から減少しているのは、国民健康保険基金安定事業の対象者数の減少に伴い繰上金が減少したためである。
 ○積立金について、平成27年度が突出して大きくなっているのは、堺市土地開発公社が平成28年3月31日付で解散し、その清算金を積み立てたためである。

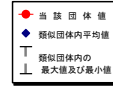
(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

平成28年度

大阪府堺市

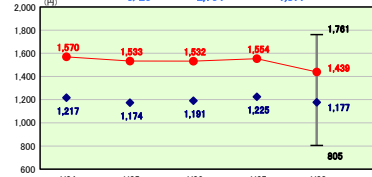
人口	844,030	人(H29.1.1現在)			
うち日本人	831,261	人(H29.1.1現在)			
面積	149.82	km ²			
歳入総額	353,275,963	千円			
歳出総額	349,889,132	千円			
実収支	2,386,826	千円			
標準財政規模	187,910,775	千円			
地方債現在高	407,737,136	千円			

実収赤字比率	-	%
実収赤字率	-	%
実収赤字率	5.7	%
実収赤字率	17.5	%
市町村類型	H24 政令市 H25 政令市 H26 政令市	
(年度毎)	H27 政令市 H28 政令市	

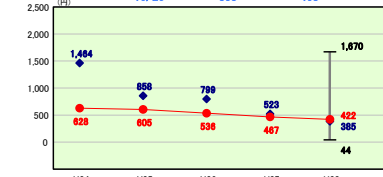


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

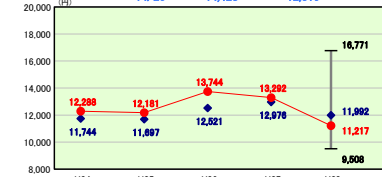
議会費
 類似団体内順位 5/20 全国平均 2,704 大阪府平均 1,877



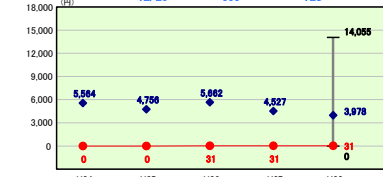
労働費
 類似団体内順位 10/20 全国平均 838 大阪府平均 488



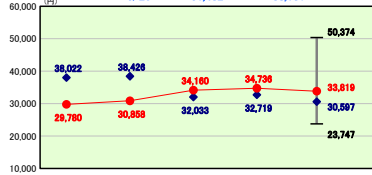
消防費
 類似団体内順位 14/20 全国平均 14,426 大阪府平均 12,319



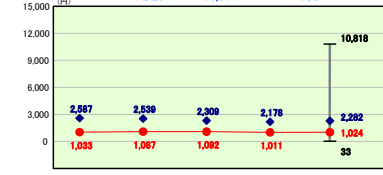
諸支出金
 類似団体内順位 12/20 全国平均 898 大阪府平均 728



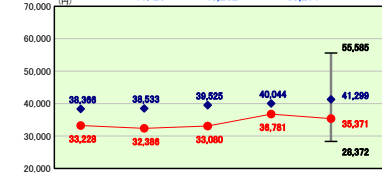
総務費
 類似団体内順位 6/20 全国平均 51,482 大阪府平均 33,131



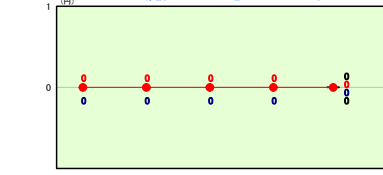
農林水産業費
 類似団体内順位 14/20 全国平均 10,614 大阪府平均 783



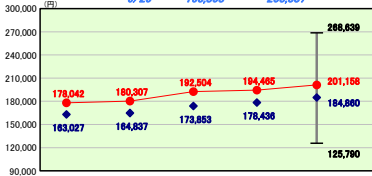
教育費
 類似団体内順位 17/20 全国平均 45,282 大阪府平均 38,271



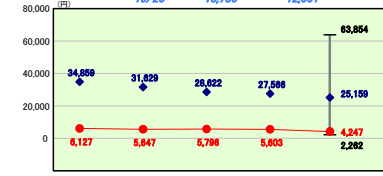
前年度繰上充用金
 類似団体内順位 1/20 全国平均 2 大阪府平均 0



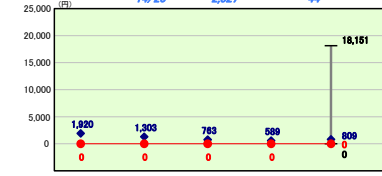
民生費
 類似団体内順位 6/20 全国平均 163,808 大阪府平均 203,337



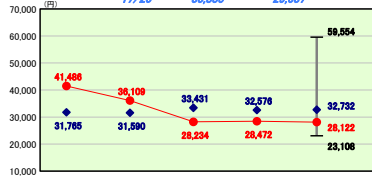
商工費
 類似団体内順位 19/20 全国平均 13,786 大阪府平均 12,081



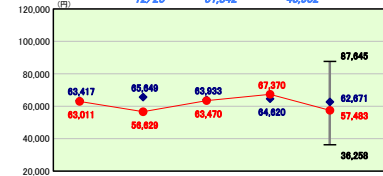
災害復旧費
 類似団体内順位 14/20 全国平均 2,327 大阪府平均 44



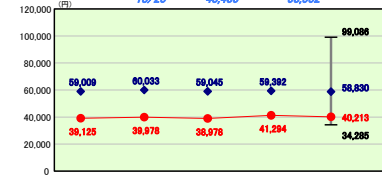
衛生費
 類似団体内順位 17/20 全国平均 35,835 大阪府平均 29,637



土木費
 類似団体内順位 12/20 全国平均 51,842 大阪府平均 43,902



公債費
 類似団体内順位 18/20 全国平均 43,435 大阪府平均 53,502



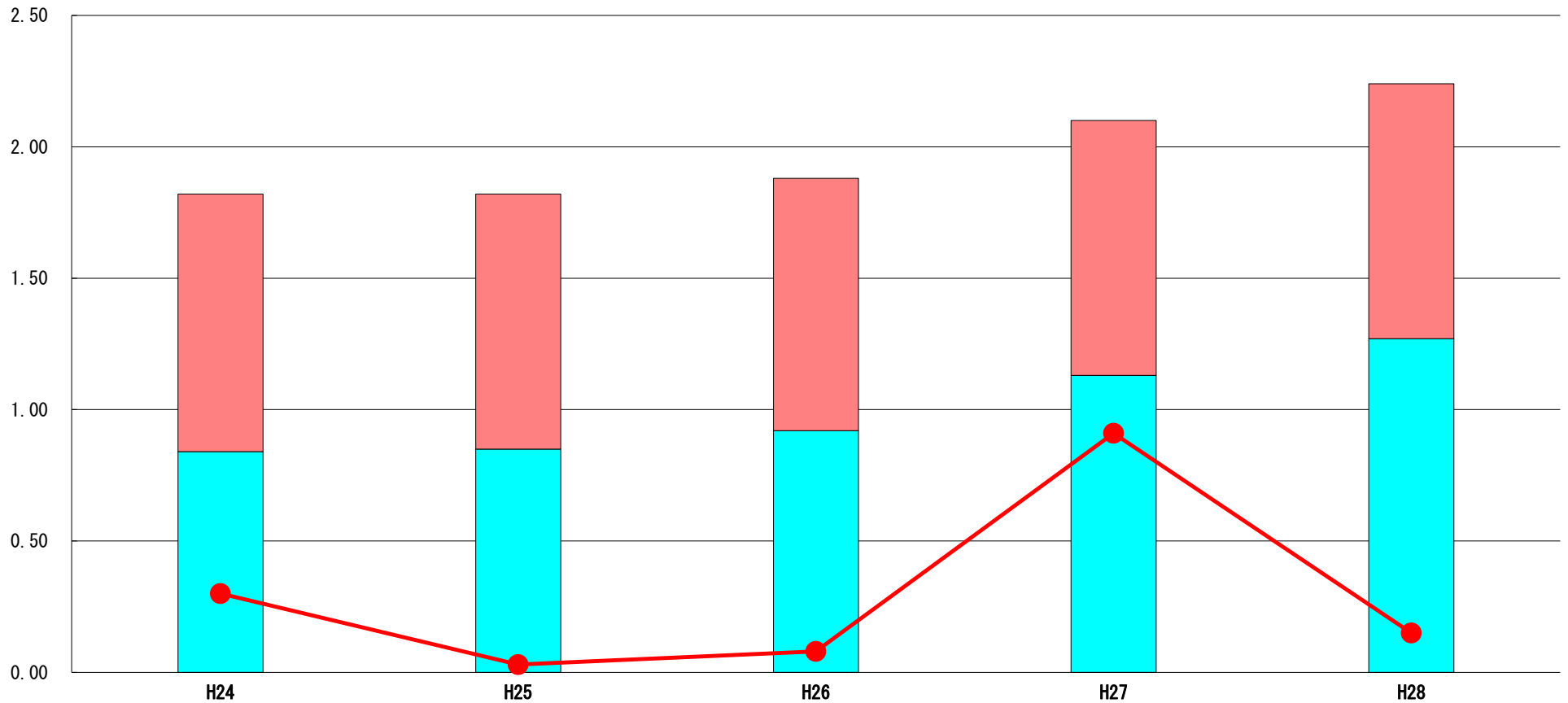
目的別歳出の分析
 ○議会費は、類似団体平均を上回り続けている。本会議だけでなく各委員会におけるインターネット中継や議案報告会の開催など、議会力の向上に資する経費について、議会力向上事業として実施していることが要因と考えられる。
 ○民生費は、年々増加している。認定こども園運営費の増加、制度改正や認定者の増加に伴う特別食料(国民健康保険事業、介護保険事業及び後期高齢者医療事業)への繰出の増加等によるものである。また、本市は生活保護率が高いことから、類似団体に比べて高い水準となっている。
 ○商工費は、平成24年度から平成26年度にかけて大きく減少している。平成24年度にクレーン・ショベルカー等施工機の整備が、平成25年度に建設現場の長寿命化を図る大規模改修がそれぞれ終了したことによるものである。
 ○土木費について、平成28年度は、市営住宅修繕事業や阪神高速大和川線事業の進捗、日本高速道路保有・債務返済機構への出資対象事業費の減少等により、前年度から大きく減少した。
 ○消防費は、平成26年度及び平成27年度がほかの年度に比べ高い水準となっている。平成26年度に消防救急デジタル無線の整備や消防庁舎等の改修を実施したためである。
 ○教育費は、平成24年度から平成26年度にかけてはほぼ横ばいであったが、平成27年度に、教育環境の改善・充実のための小学校の耐震化工事、中学校校舎普通教室への空調整備、中学校給食調理場等整備等を実施したことから普通建設事業費が増加したことにより、大きく増加した。平成28年度については、府負担教職員種限移譲準備、中学校給食事業の開始、基金積立等により、平成24年度から平成26年度の水準と比べ高い水準となっている。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)




平成28年度

大阪府堺市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H24	H25	H26	H27	H28
 財政調整基金残高		0.98	0.97	0.96	0.97	0.97
 実質収支額		0.84	0.85	0.92	1.13	1.27
 実質単年度収支		0.30	0.03	0.08	0.91	0.15

分析欄

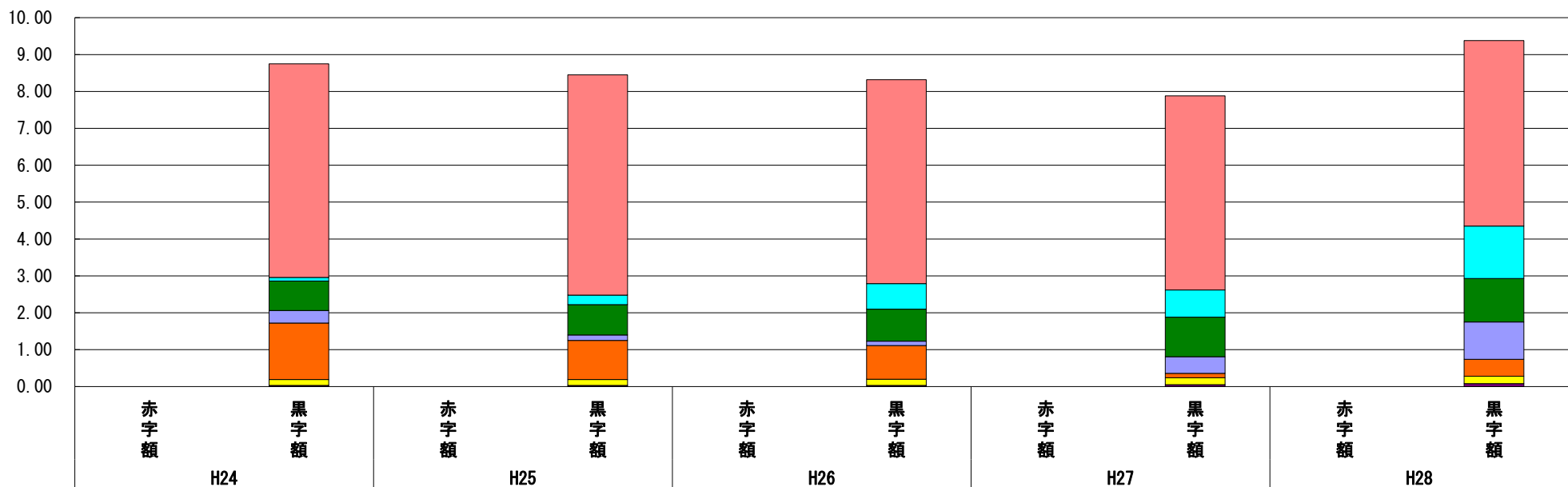
財政調整基金は、適切な財源の確保と要員管理等による人件費の削減や平成23年度から実施している事務事業総点検等による行財政改革に伴う歳出の精査により取り崩しを回避しており、微増ではあるが増加傾向にある。
 実質収支額について、歳入においては平成27年度の土地開発公社の解散に伴う同公社からの貸付金元利収入や土地開発基金清算金が皆減したことにより諸収入が減少した。一方で歳出においても定年退職者にかかる退職手当の減少や平成27年度の土地開発公社の解散に伴う貸付金元利収入による基金への積立が皆減したため、結果として歳入の減少以上に歳出の減少が大きく、実質収支額では平成27年度2,111百万円から平成28年度2,393百万円と前年度比で11.3%の増となった。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

標準財政規模比（％）

平成28年度

大阪府堺市



標準財政規模比（％）

会計	年度	H24	H25	H26	H27	H28
堺市水道事業会計		5.79	5.97	5.53	5.26	5.03
堺市下水道事業会計		0.10	0.26	0.69	0.74	1.42
一般会計		0.80	0.82	0.87	1.07	1.18
介護保険事業特別会計		0.34	0.15	0.12	0.45	1.01
国民健康保険事業特別会計		1.53	1.06	0.91	0.12	0.46
後期高齢者医療事業特別会計		0.16	0.16	0.17	0.19	0.20
母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計		0.03	0.03	0.03	0.05	0.08
都市開発資金特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

分析欄

引き続きすべての会計で実質収支、資金収支が黒字となっており、連結実質赤字比率は生じていない。
 一般会計においては、要員管理の徹底と行財政改革のさらなる推進により、引き続き現在の水準の維持に努める。
 その他会計においても、例えば国民健康保険事業特別会計では、滞納処分等の目標件数を区役所ごとに設定し、納付勧奨や差し押さえ等、保険料の収納率向上を図ることで、引き続き現在の水準の維持に努める。

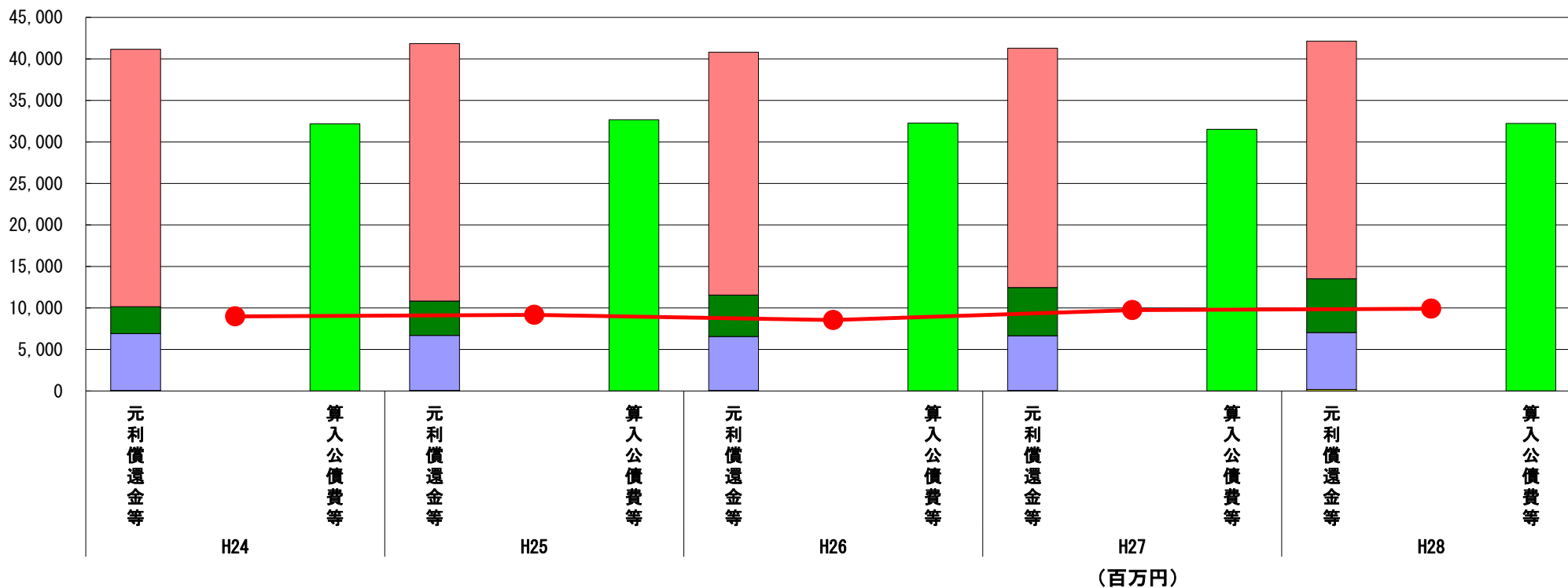
※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成28年度

大阪府堺市

(百万円)



分子の構造		年度	H24	H25	H26	H27	H28
元利償還金等 (A)	元利償還金		31,007	31,020	29,260	28,830	28,617
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		3,233	4,134	4,982	5,808	6,475
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		6,868	6,649	6,519	6,602	6,869
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		51	48	47	45	176
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		32,173	32,680	32,261	31,534	32,234
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		8,986	9,171	8,547	9,751	9,903

分析欄

平成24年度以降、ほぼ横ばいで推移していたが、文化観光拠点の整備等、平成26年度に普通建設事業費が増加したことなどから、平成27年度において元利償還金等が増加し、平成28年度においてもほぼ同水準で推移している。

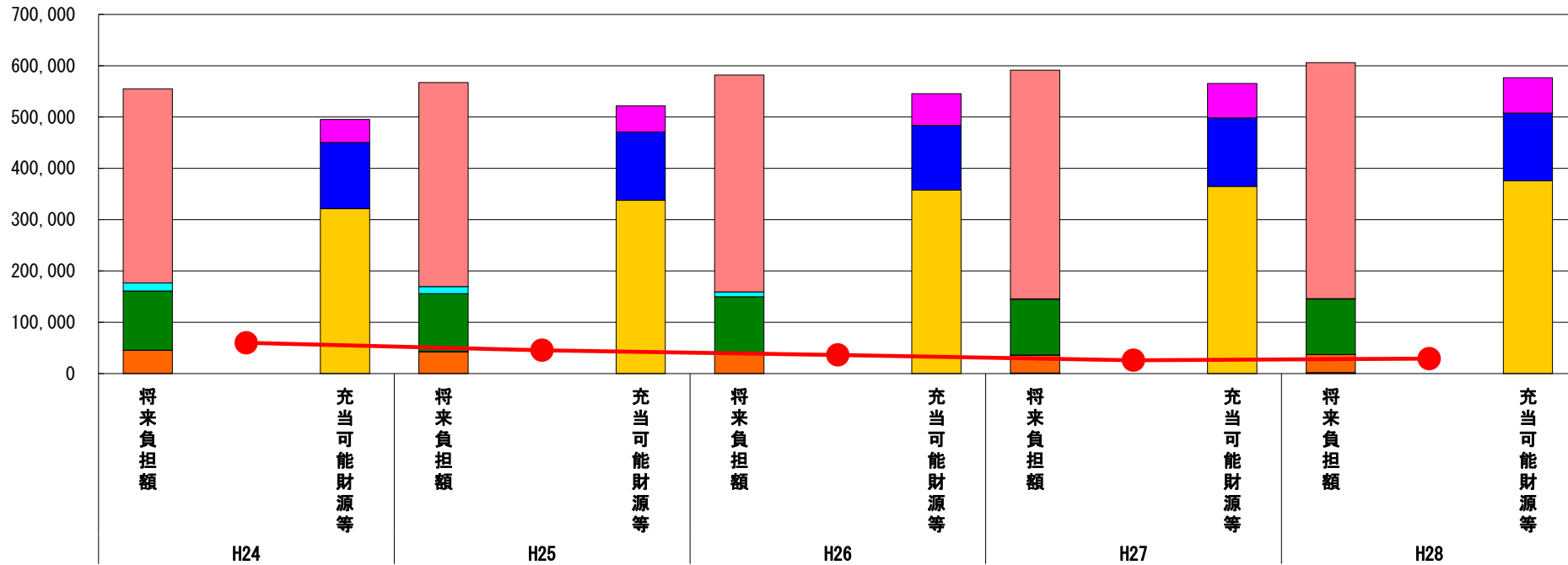
※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成28年度

大阪府堺市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H24	H25	H26	H27	H28
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		378,608	397,879	422,719	445,591	459,973
	債務負担行為に基づく支出予定額		15,609	13,633	9,359	850	785
	公営企業債等繰入見込額		115,158	113,033	110,322	108,519	108,117
	組合等負担等見込額		402	241	90	33	10
	退職手当負担見込額		45,409	42,635	39,390	35,069	35,139
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	1,212	1,956
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
	充当可能基金		44,674	51,147	61,943	67,089	69,003
	充当可能特定歳入		129,123	133,080	125,942	133,346	132,213
(A) - (B)	将来負担比率の分子		60,005	45,473	36,379	25,918	29,157

分析欄

これまでの経過として、平成23年度に策定した「堺市要員管理方針」において、平成21年4月1日を起点として10年間で職員数を2割以上削減するという目標を掲げ、毎年度職員数を減らしていること及び退職手当の支給率を見直してきたことから、将来負担比率は減少傾向を続けてきた。

また、平成23年度に土地開発公社の解散方針を決定し、平成27年度末で解散するまでの間、同公社からの事業用地の取得を推進してきたことも将来負担比率が減少傾向を続けてきた要因である。

平成28年度は、要員管理により職員数は引き続き減少しているものの、阪神高速大和川線事業などの公共事業の進捗により、地方債残高が増加し、前年度と比較して12.5%の増となった。

※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

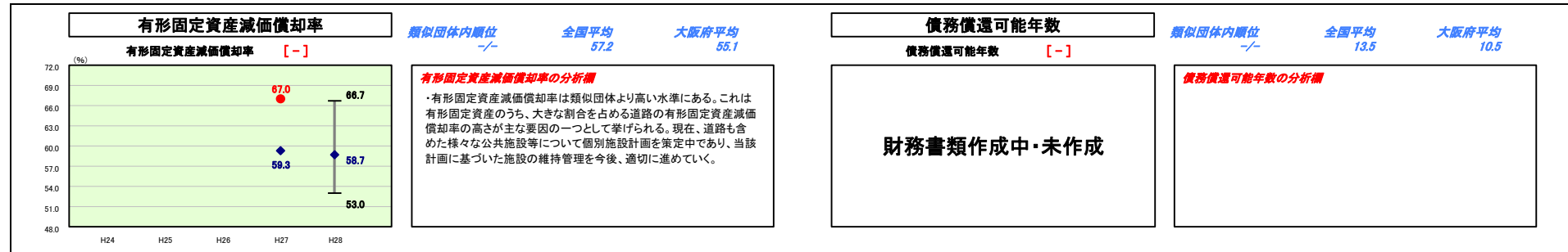
平成28年度

大阪府堺市

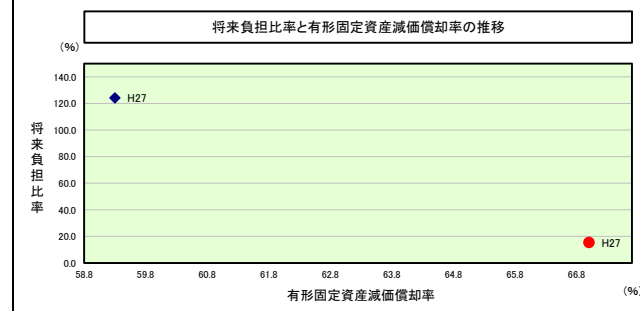
人	844,030	人(H29.1.1現在)	-	%	
うち日本人	831,261	人(H29.1.1現在)	-	%	
面積	149.82	km ²			
歳入総額	353,275,953	千円			
歳出総額	349,889,132	千円			
実質収支	2,393,508	千円			
標準財政規模	187,910,775	千円			
地方債現在高	407,737,136	千円			
実質赤字比率					
連結実質赤字比率					
実質公債費比率			5.7	%	
将来公債費比率			17.5	%	
市町村類型	H24 政令市	H25 政令市	H26 政令市		
(年度毎)	H27 政令市	H28 政令市			

● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の
最大値及び最小値

- ※ 有形固定資産減価償却率は平成30年1月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、債務償還可能年数は平成30年1月1日時点で統一的な基準による財務書類を作成済みの団体について、数値を記載している。
- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析

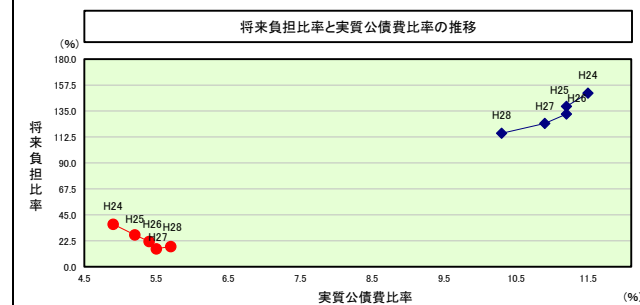


分析欄
将来負担比率は類似団体平均を大きく下回っている一方で、有形固定資産減価償却率は類似団体よりも高い。これは、有形固定資産のうち、大きな割合を占める道路の有形固定資産減価償却率の高さが主な要因の一つとして挙げられる。今後、公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化対策に積極的に取り組んでいく。

(参考)

		H24	H25	H26	H27	H28
当該団体値	将来負担比率				15.6	
	有形固定資産減価償却率				67.0	
類似団体内平均値	将来負担比率				124.2	
	有形固定資産減価償却率				59.3	

将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



分析欄
将来負担比率及び実質公債費比率は、類似団体平均を大きく下回っているが、実質公債費比率は緩やかに上昇している状況である。本市の実質公債費比率が上昇している要因としては、平成24年度から第三セクター等改革推進債の償還が開始され元利償還金が増加したことや、過年度に発行した市債の元利償還にかかる交付税措置が一部終了したことがあげられる。将来負担比率は、職員数の削減や退職手当の支給率の見直しにより低下してきたが、阪神高速大和川線事業などの公共事業の進捗により市債残高が増加したため、平成28年度は上昇した。

(参考)

		H24	H25	H26	H27	H28
当該団体値	将来負担比率	36.9	27.6	21.9	15.6	17.5
	実質公債費比率	4.9	5.2	5.4	5.5	5.7
類似団体内平均値	将来負担比率	150.5	139.0	132.4	124.2	115.7
	実質公債費比率	11.5	11.2	11.2	10.9	10.3

(12)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

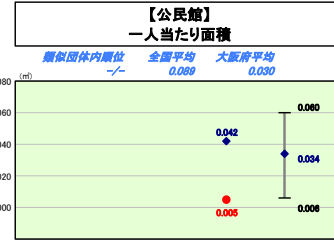
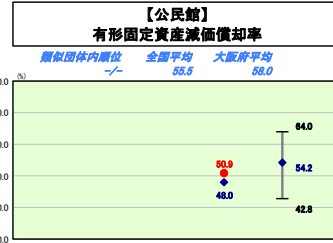
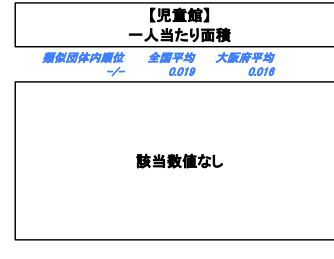
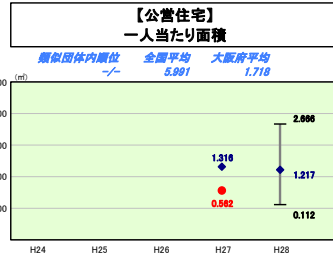
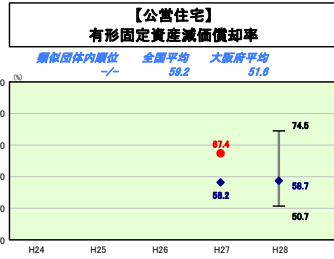
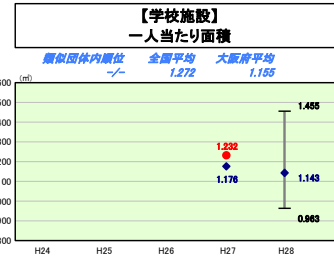
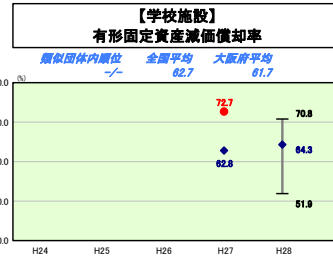
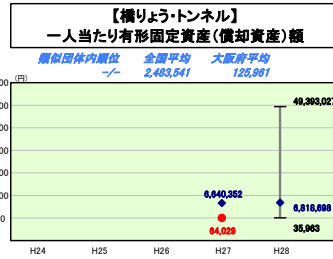
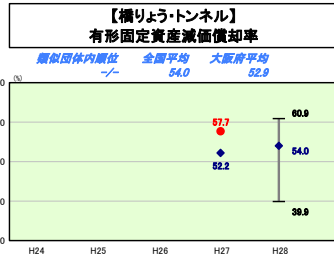
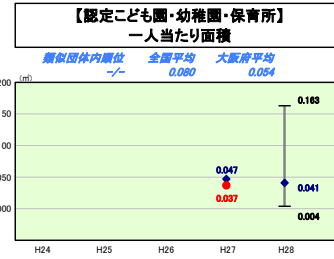
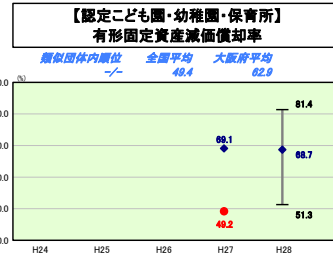
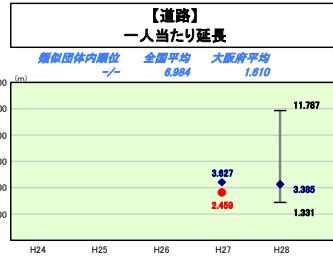
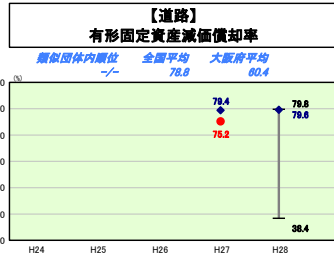
平成28年度

大阪府堺市

人口	844,030	人(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	831,261	人(H29.1.1現在)	道橋実質赤字比率	-	%
面積	149.82	km ²	実質公債費比率	5.7	%
歳入総額	353,275,953	千円	将来負担比率	17.5	%
歳出総額	349,889,132	千円	市町村類型	H24 政令市 H25 政令市 H26 政令市	
実質収支	2,386,508	千円	(年度毎)	H27 政令市 H28 政令市	
標準財政規模	187,910,775	千円			
地方債残高	407,737,136	千円			



※平成29年1月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。
 ※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成29年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



施設情報の分析
 類似団体と比較して特に有形固定資産減価償却率が高くなっている施設は、道路、学校施設、公営住宅である。
 本市の公共施設は、30年以上前に建築したものが約5割を占めており、また、道路についても高度経済成長期などに整備されたものが多いことから、今後、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に実施することが必要となる。
 道路については平成23年度に舗装修繕計画を策定し、同計画に基づき、引き続き老朽化対策に取り組んでいくこととしている。学校施設については、平成29年度中に老朽度等に関する調査を行い、平成32年度までに計画的に修繕・更新等を行っていく。
 公営住宅については、平成23年度に堺市営住宅長寿命化計画を策定しており、同計画に基づき、建替えや修繕等を進めていく。

(12)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

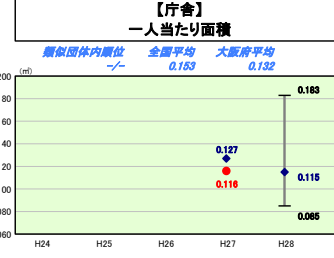
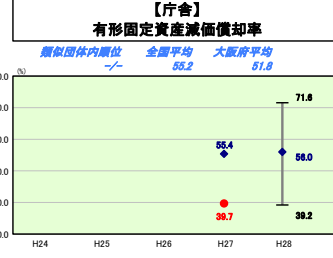
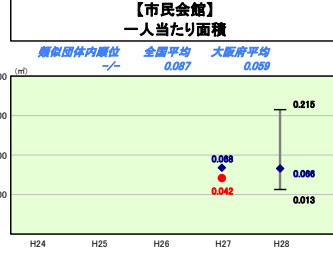
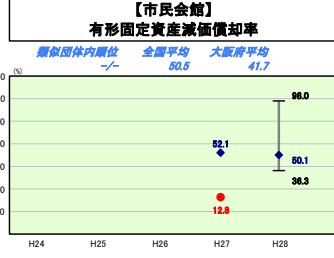
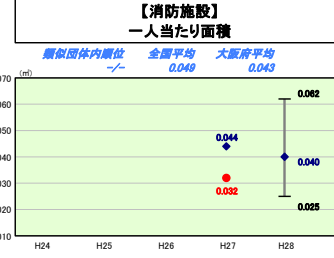
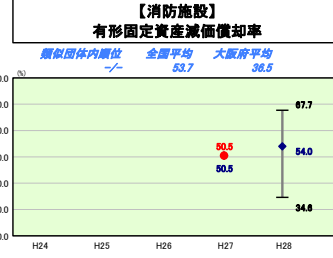
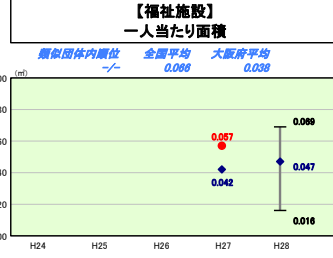
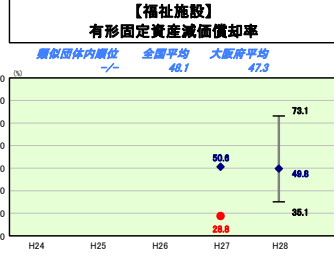
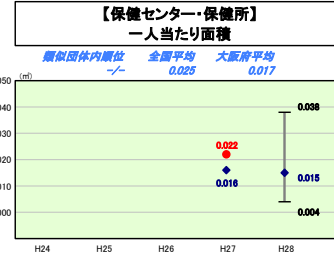
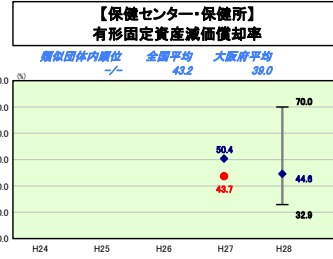
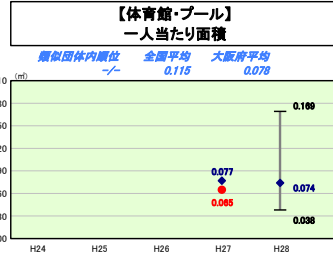
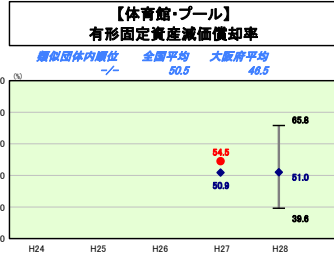
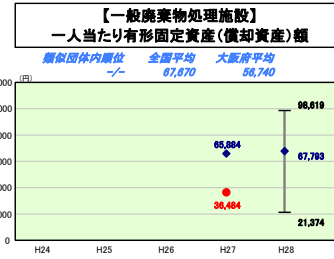
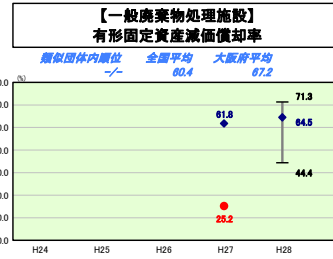
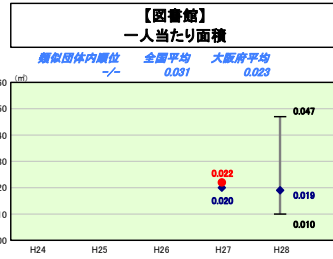
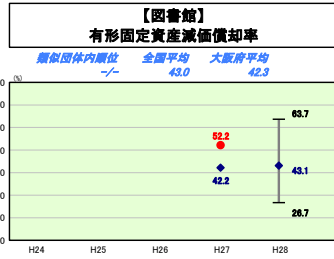
平成28年度

大阪府堺市

人	口	844,030	人(H29.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人		831,261	人(H29.1.1現在)	道輸実収赤字比率	-	%
面積		149.82	km ²	実収公費率	5.7	%
歳入総額		353,275,953	千円	得率負担比率	17.5	%
歳出総額		349,889,132	千円	市町村類型	H24 政令市 H25 政令市 H26 政令市	
実収収支		2,386,508	千円	(年度毎)	H27 政令市 H28 政令市	
標準財政規模		187,910,775	千円			
地方債残高		407,737,136	千円			



※ 平成30年1月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。
 ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成28年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



施設情報の分析値
 類似団体と比較して特に有形固定資産減価償却率が特に低くなっている施設は、一般廃棄物処理施設、福祉施設、市民会館である。
 これらの施設については、例えば、平成25年度竣工のクリーンセンター臨海工場と建設事業が進行している市民会館など、近年、新築や建替が行われたことにより、資産老朽化比率が改善したものである。